

科目名 (科目番号)	医療経済学	教員名 椎名 清和	学科等	看護	選択	履修年次	2
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー	本キャンパス	
授業概要	医療現場における意思決定がどのようになされているのか、どのようにすれば行動変容が起きるのかを行動経済学の観点から確認し、臨床現場において行動経済学を活用できるようになることを目的とする。 そのために、教科書以外に新聞記事や当事者の手記、厚生労働省によるリーフレット等を参考資料として配付したり、視聴覚資料を活用したりする。						
目的・目標	目的：医療現場における意思決定が、どのようなプロセスで生じているのかを説明するための理論的枠組みのひとつをもてるようになる。 目標：患者の意思決定が合理的になされるように支援することの必要性を理解する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション 医療における行動経済学	到達目標：医療における意思決定に関係する各種のバイアスについて説明できる。 学習内容：『授業計画』等により、授業概要や予習・復習の方法を確認する。 学習内容：診療現場での会話例をもとに、行動経済学の考え方を学ぶ。				
	2	行動経済学の枠組み（１）	到達目標：人間の意思決定の傾向を行動経済学の観点から説明できる。 学習内容：プロスペクト理論、現在バイアス、社会的選好、限定合理性等を学習する。				
	3	行動経済学の枠組み（２）	到達目標：行動経済学と伝統的な経済学の違いについて説明できる。 到達目標：ナッジの概要を説明できる。 学習内容：行動経済学およびナッジ				
	4	新型コロナと手指衛生 HPVワクチン	到達目標：手指衛生不遵守のメカニズムを説明できる。 到達目標：HPVワクチン接種行動の機序を行動経済学的に説明できる。 学習内容：手指衛生不遵守のメカニズム、HPVワクチンの接種				
	5	肝臓病対策 SMSによる受診勧奨	到達目標：肝疾患治療における受検の機序等を説明できる。 到達目標：特定健診等の未受診者に対する効果的な介入方法を考察することができる。 学習内容：佐賀県の肝炎対策、SMSの費用対効果				
	6	臓器提供意思表示促進 人生会議（ACP）	到達目標：臓器提供の意思表示を増やすための取組について説明できる。 到達目標：人生会議を行う際の留意点について説明できる。 学習内容：本人の意思の推測、共同意思決定や意思決定支援				
	7	アレルギー性疾患の治療 非感染性疾患	到達目標：治療を嫌がる患者との関わりについて考察することができる。 到達目標：患者の行動変容について説明できる。 学習内容：ステロイド忌避、金銭的インセンティブ				
	8	内服投与事故の解決 メンタルヘルスクエア	到達目標：事故予防において留意すべき事項を説明できる。 到達目標：ナッジを活用したメンタルヘルス対策を考察することができる。 学習内容：負荷の少ない医療安全対策、受療行動促進				
成績評価の方法・基準	記述式の期末試験(100%)で評価する。						
教科書	実践 医療現場の行動経済学 すれ違いの解消法		大竹文雄・平井啓編著				東洋経済新報社
参考図書	医療現場の行動経済学 ーすれ違う医者と患者		大竹文雄・平井啓編著				東洋経済新報社
教員からのメッセージ	インターネットの普及により医療情報へのアクセスは飛躍的に向上しました。しかしながら、誰もが合理的に最善の判断を下しているとはいえない状況にあります。「なぜ？」をもとに考える習慣をつけていきましょう。 なお、受講生の人数や進度等により、授業内容の一部を変更する場合があります。						